

学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」

とひの かふち



《学校だより》 第1号

令和4年4月8日発行
湯河原町立湯河原小学校
校長 北村和裕

今年度もよろしくお祈いします

4月5日、昇降口に貼り出されたクラスの名簿を見ながら、笑顔で新しい教室に向かう子ども達の姿がありました。新年度の始まりです。学年が1つずつ上がり、新しい仲間や先生とともに生き生きと過ごしています。

今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、毎朝の検温や健康チェック、手洗い、マスクの着用、換気などの対応は続きます。しかし、コロナ対応とともに知恵を出し合い、工夫しながら教育活動も着実に進めていきます。全校児童292人が充実した学校生活となるように、教職員一同、日々の教育活動に当たって参ります。保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

新しい仲間が45人！ 入学式

4月5日に入学式を行いました。会場の体育館では保護者、5名の代表の来賓の方、そして6年生が45名の新入生を迎えました。校長の式辞では、『なかよくなるための魔法の言葉』の話をしました。その言葉とは、「おはようございます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」です。言った方も言われた方もうれしくほかほかな気持ちになるからです。

1日も早く学校生活に慣れ、たくさんの人たちと仲良くなり、笑顔いっぱい過ごしてほしいと思います。



よろしくお祈いします！ 着任式

今年度、新たに7名の教職員が着任しました。4月5日にオンラインで子ども達に紹介し、着任者一人ひとりが自己紹介をしました。子ども達は期待を膨らませながら話に聞き入っていました。また、いろいろな場面で新たなドラマが始まります。



令和4年度 学校経営計画

今年度の学校経営計画を裏面に掲載しました。学校教育目標は「生命(いのち)輝く子どもを育てる ～心はほかほか 学びはしっかり 体ははつらつ～」です。

児童にとっては「また明日も来たいと思える学校」、保護者の方にとっては「今日も安心して通わせられる学校」をめざして、全職員一丸となって取り組んでいきます。

なお、key point は、本年度の重点で7月と1月に児童、保護者、教職員を対象に実施する学校評価アンケートの項目にもなりますので、ご承知ください。

りっぱな態度の4・5年生

先日、卒業した子の保護者の方と話す機会がありました。話題は卒業式のことになりました。その方は「卒業式で私が一番感動したのは4・5年生です。私たちが体育館に入っていく前から自分の席できちんと座り、式の最後までしっかりとした態度で参加していましたね」と話をされました。

これを聞いて私はとてもうれしくなりました。卒業式と言えば主役はもちろん6年生。4・5年生は、式の前後の1時間半も式場の後方の席に座り、出番は入退場の時の拍手と最後の校歌を歌うときだけのいわゆる脇役です。しかし、長時間にわたってしっかりとした態度で式に臨むことができたのは、卒業式の意味や自分たちの役割をしっかりと理解し、卒業する6年生を温かく送り出そうとする気持ちの表れだと思います。

その4・5年生も1つ学年があがり、5・6年生になりました。今度はみなさんが主役です。この湯河原小学校のために精一杯頑張ってくれることを期待しています。

地域の方からお電話が・・・

4月6日(水)の朝、地域の方から学校に電話がありました。こんな内容でした。「宮上から学校の方に下っていく途中で、1年生の両側を6年生が手をつないで登校していました。その姿を何組も見ました。とてもいい光景でした」

4月5日は、入学式もあったので1年生は保護者の方と学校に来ました。ですから、翌日の6日は、他の学年とともに登校する初めての日だったのです。両手をつないでもらってどんなに心強かったことでしょう。6年生の握る手は、きっと大きくて頼もしく感じたことでしょう。また、電話をくださった地域の方の子ども達を見守ってくださる温かなまなざしに感謝します。

(その他、子どもたちの様子は学校ホームページの「ゆがわら小だより」に掲載中)

<http://www4.airnet.ne.jp/yugawara/>